

BST-300C

本機の清掃

1. 機体を清水できれいに洗浄します。高圧洗浄は行わないでください。故障の原因になります。
2. 使用した容器を洗浄します。
3. 本機を保管場所に入れます。
4. エンジンを停止し、燃料コックを閉じます。
5. エンジンが冷え、機体が完全に乾いてからシートをかけます。
6. 保護具を洗浄し、衣類も洗濯してください。
7. 身体をよく洗い、うがいをしてください。
8. 薬剤を保管庫に戻し、カギをかけて保管します。農薬使用日誌に使用量を記録します。

注意

1. 電装品には水をかけないでください。故障の原因になります。
2. エンジンは水洗いしないでください。故障の原因になります。

21. 保守点検・給油

■給油一覧表

▲警告

1. オイルを抜く場合は、必ず容器に受けてください。
2. オイルは不用意に捨てないでください。地面への垂れ流しや、河川、湖沼、海洋への廃棄は絶対にしないでください。環境を破壊します。廃油の処理についてはオイルの購入先にご相談の上処理してください。

使用油脂	給油箇所	始業点検	単位時間	備考
燃料	燃料タンク	都度	←	自動車用レギュラーガソリン
エンジン オイル	ガソリンエンジン用 エンジンオイル	○	(初回)25時間 50時間毎	SAE10W-30 SD級 0.6L
ギヤー オイル	トランスミッション		(初回)100時間 100時間毎	SAE#90 1.5L
モービル オイル	噴霧用ポンプ	○	(初回)50時間 100時間毎	SAE10W-30 SC級 0.6L
	シリンダ取付部注油口	○		注油(2~3滴)
	調圧弁カム部分	○		注油
	噴霧用エンジン	○	(初回)25時間 50時間毎	ガソリンエンジン用 SAE10W-30 SD級 0.6L
	各ワイヤ部		25時間	注油
	テンション軸受部		25時間	注油
	レバー軸受部		25時間	注油
グリース	トラックローラ		50時間	シャーシグリース、万能グリース
	アイドルローラ		50時間	↑
	ブーム開閉部		50時間	↑
油圧 オイル	油圧タンク	○	100時間毎	タービン油 ISO VG32

▲注意

1. 点検整備を行う時は必ずエンジンを停止し、走行クラッチレバーを「切」の位置にしてから行ってください。
2. エンジンをかけた状態で点検・整備を行う必要がある場合は、自分で行わず、必ず販売店のサービス担当者に依頼してください。